



フィリピン「人」の魅力

～都会で暮らして、田舎で暮らして～

「食と国際協力」第51回目のテーマ国はフィリピンです。2013年11月にフィリピン中部を史上最大級の台風Haiyan（現地名Yolanda）が襲い、7,000名以上の方が亡くなりました。

CODEはフィリピン島北部とバンタヤン島で被災した漁師へのボート・漁網提供などの救援活動を行いました。現在は漁村の女性の生活向上やコミュニティ防災のプロジェクトに取り組んでいます。

今回
の食



ティノーラン・イスダ
(魚のスープ)

今回の語り手はCODE未来基金インターンであり、兵庫県立大学大学院の博士課程学生でもある立部知保里さんです。大学でフィリピン語を専攻し、1年間マニラでの留学を経験しました。その後社会人を経て現在の大学院に進学し、セブ島北部とバンタヤン島の農村・漁村に滞在しながら、現地の復興の取組みについて研究しています。

フィリピンの暮らしや文化、人の魅力、現地に関わってきた想いについてお話しします。皆様のご参加をお待ちしています。



女性の生活向上プロジェクトのワークショップの様子

2019年5月17日(金)

18:30～20:00

※今回は金曜日の開催です！

場 所 CODE事務所

参加費 食事代800円

語り手 立部知保里さん
(CODEインターン/
兵庫県立大学大学院生)

※当日参加も可能ですが、人数把握のためできれば事前に下記Emailかお電話でお申込みください。

食と国際協力とは？

CODEは毎月第3木曜日に“食”を通して世界の国々の文化や暮らしについて学ぶ場をつくっています。“食”を通して世界の様々な国について知ることで、いざ災害が起きた時に『どこか遠くの出来事』ではなく少しでも『身近な出来事』として感じられればという思いで開催しています。

お申込み・お問合せ

CODE海外災害援助市民センター

〒652-0801 神戸市兵庫区中道通

Tel: 078-578-7744 Fax: 078-574-0702

Email: info@code-jp.org

